

## 第3節 歴史的文化的環境の形成

### 第1 歴史的文化的遺産を活かしたまちづくり

#### ①歴史的町並み等の保全

##### ■歴史的建造物群の保存

富田林寺内町（伝統的建造物群）の平成11年度の保存整備については、市が行う修理・修景事業に対して指導助言を行った。

##### ■登録文化財建造物の登録の促進

平成8年施行の国の登録文化財制度により、本府では平成12年4月現在、すでに56ヶ所105件が登録文化財として登録されている。登録文化財制度は指定文化財制度のように、厳密・厳選して選ぶのではなく、私たちのまわりにある身近な建造物等であっても、再び造ることができないような文化財を国の登録台帳に登録して、所有者の自主的な保存活用を期待する制度である。

登録文化財を生かした個性的なまちづくり、地域づくりの促進のために、今後も国と連携を図りながら登録文化財の登録を促進する。

#### ②名勝・天然記念物の文化財の保全

##### ■名勝・天然記念物の指定による文化財の保全

岩湧山（河内長野市）を府名勝に、光明寺のイチョウ（箕面市）を府天然記念物に大阪府文化財保護条例によって指定した。また、国宝・重要文化財・史跡名勝天然記念物等の国及び府指定の文化財について、保存修理や防災施設の整備等に対し、所有者への助成を行った。



<府指定名勝、岩湧山（河内長野市）>

##### ■史跡等、公有化整備事業への助成

史跡池上曾根遺跡（泉大津市・和泉市）をはじめ、地域の歴史的文化的環境の核として重要な史跡等について、市町村の行う土地公有化事業や環境整備事業について助成を行った。

#### ■文化財等の調査

近年急激に滅失している伝統的な建築技法・工法によりつくられた近代和風建築（明治、大正、昭和）について、2か年にわたって、府内における所在リストの作成と主要物件の概要調査を行って報告書を刊行した。

近代遺跡の所在調査を実施した。また、大規模開発に対しては、有形文化財、無形文化財等も含めた総合調査を実施するよう事業者を指導した。

#### ■埋蔵文化財の保全及び調査

埋蔵文化財包蔵地における開発工事について、事前に事業者と文化財保存について協議し、貴重な文化財が不用意に失われることのないように指導を行った。なお、平成11年度の開発工事に伴う発掘届出件数は10,658件であった。また、開発工事に先立ち、破壊の恐れのある埋蔵文化財の発掘調査及び遺跡範囲確認調査等を実施した。

### ③歴史的町並みを活かした施設づくり

#### ■歴史街道事業の推進

「なにわ歴史街道事業化推進指針」に基づき、事業の目的である「歴史文化あふれる都市・大阪づくり」の実現を目指し、道路ネットワークの整備、歴史的まちなみの保全、情報発信、イベントの開催等を進めた。

#### ■歴史のみち・歴史をめぐる遊歩道整備事業の推進

市町村が実施する、道路の美装化や無電柱化、デザイン照明・シンボルパネル・案内板・一里塚・道標等の設置等の旧街道の町並みや景観に調和した修景整備に対して補助を実施した。

#### ■ウォーキング・トレイル事業の推進

地域住民等の参画を得て、地域の特性を活かした「ウォーキング・トレイル事業」を策定し、景観にも配慮した形で整備することで、地域を活性化し、魅力ある歩行空間の創造を図った。

#### ■案内標識の整備

大阪中央環状線等において、歴史・文化的史跡を案内するための標識の設置を行った。

#### ■歴史の息づく水辺空間の整備

（内容は、第3章第3節第3①■ふるさとの川整備事業の推進に前掲）

## 第2 開かれた歴史的文化的環境づくり

### ①博物館等の整備・運営

#### ■府立博物館の運営

歴史・文化に関する様々な資料や情報を調査・収集・保存し、展示や講座、体験学習等の催事を通して広く府民に提供し、豊かな文化的環境の創造に資するため、弥生文化博物館（和泉市）並びに近つ飛鳥博物館（河南町）の2府立博物館を運営した。

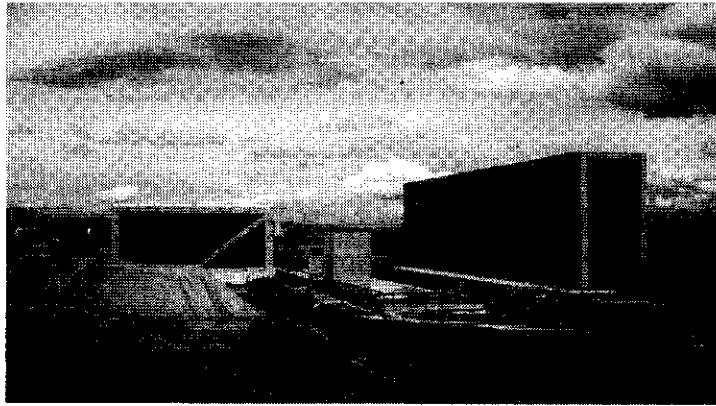
#### ■日本民家集落博物館への支援

日本全国から移築した貴重な民家の保存と活用を図るため、日本民家集落博物館の運営及び民家の修理

等の事業に対し補助を行った。

■狭山池ダム資料館（仮称）の建設

平成11年度においては、昨年度に引き続き、建築工事及びレプリカ・模型・映像等資料館の展示物の製作を行った。



<狭山池ダム資料館（仮称）>

■府立近つ飛鳥風土記の丘の運営

わが国の代表的な古墳時代後期の群集墳で、学術的にも貴重な国指定史跡「一須賀古墳群」を保存するとともに、府民に豊かな自然の中で文化財にふれ、学び、親んでもらう史跡公園として運営した。

②学習・情報提供の推進

■歴史情報の提供

府内の重要な文化財の記録を目的として、「調査事務所年報3」及び調査報告書「余部遺跡（その1）」「高柳遺跡」「安威遺跡」など11冊を刊行した。また、府内における発掘調査の成果を広く公開するため、招堤中町遺跡（枚方市）において発掘調査現地説明会を開催した。

■講座、イベント等の開催

博物館の特別展示等のテーマに関連したセミナーや講演会等を実施するとともに、ミュージアムコンサートや自然観察会等の博物館の特性や立地を生かした多様なイベントを開催した。

■文化財指導員による指導

府内の指定文化財の保存管理に関して随時巡視を行い、文化財等の所有者及びその関係者に対し、指導助言を行うとともに、文化財保護思想についての普及啓発活動を行った。